

千葉大学病院にて水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術 または 水晶体再建術併用線維柱帯切開術を施行された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年11月15日

眼科

眼科では、水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術と水晶体再建術併用線維柱帯切開術の成績比較に関する研究を行っており、以下に示す方の療情報等を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2022年5月1日～2023年10月31日の間に水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術または水晶体再建術併用線維柱帯切開術を施行された方

1. 研究課題名

「水晶体再建術併用 iStent inject W 挿入術と水晶体再建術併用 micro-hook トラベクトミーの術後成績比較」

2. 研究期間

2024年承認日～2026年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

当科では白内障に緑内障を合併している患者様に対して白内障・緑内障同時手術をおこなう場合があります、その中でも重症でない緑内障の患者さんの場合には iStent inject W を使用した水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術と micro-hook を使用した水晶体再建術併用線維柱帯切開術を適応としております。これらの術後成績の比較は全世界的にもまだ十分されておらず、これらの手術成績を比較し、それぞれの手術のよりよい適応を

知ることが目的です。

当科で過去にこれらの手術を行った患者さんの情報を収集し比較検討します。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：試料の採取は行いません

情報：年齢、性別、緑内障病型、視野、角膜内皮、視力、術前・術後の眼圧、術前・術後の緑内障治療薬、術後合併症

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 大鳥 精司

研究責任者：眼科 助教 山岸 梓

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。具体的には収集したデータから氏名を削除し、研究用 ID を付与し特定の個人が判別できないように加工して取り扱います。研究用 ID と氏名の対応表を作成し、千葉大学大学院医学研究院眼科学教室の鍵のかかる保管庫にて厳重に取り扱います。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻 1 - 8 - 1

千葉大学医学部附属病院眼科

助教 山岸 梓

0 4 3 (2 2 2) 7 1 7 1 内線 72418

